

集落営農法人と自治会の連携による鳥獣害の被害防止対策

1 要旨

- 光市塩田地区は17自治会からなり、地域農業の担い手として（農）石城の里が水稻・麦や大豆を主体とした栽培を行っている。
- 同地区では、深刻なイノシシ被害対策を講じていくために、令和2年度から地域ぐるみの取組を進めていくこととした。
- 取組に際しては、地域住民の理解・協力及び農業の担い手との連携が重要となることから、（農）石城の里を核として自治会単位で順次取組を進め、得られた成果を他の自治会へも波及させていくこととし、令和2年度の入野自治会に続き、令和3年度は助石自治会で取組を進めた。

2 地区の概要

地区名	光市塩田地区（助石自治会）
主な作物	水稻、大豆
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和4年度



3 被害の状況と課題

- ・ 地区内の1割程度の水田でイノシシによる稲穂の食害や畦畔の掘り起こし被害が発生している。また、今後、近隣で目撃されているサルの群れが移動して来て、被害が発生するのではないかと心配されている。
- ・ これまでは防護柵が個々に設置されており、設置された金網柵や電気柵についても管理不足により侵入被害が発生している。

4 取組内容

(1) 地域ぐるみ活動対策プランの策定

○地域学習会

地域ぐるみ活動の取組や効果について、自治会を通じて地域住民への理解促進を図った。

○集落環境点検活動

自治会の主催による集落点検活動により、現地状況を確認の上、集落環境点検マップを作成。皆で現地確認を行い、マップづくりを通じた状況の可視化作業により、効果的な鳥獣害対策について地域住民の共通認識が図られた。

5 取組の成果

- 鳥獣害対策について、自治会と地域農業の担い手（（農）石城の里）の連携による集落ぐるみでの対策の効果について共通認識が図られた。
- 集落環境点検マップが作成され、イノシシ発生場所の特定や防護柵の効果的な設置計画等が策定された。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	480	—	—	—	—	—	—



6 地区代表者のコメント

【助石自治会長】

助石自治会で地域ぐるみの鳥獣害被害防止対策に取り組んでいくことで、イノシシ等の鳥獣害の被害を軽減し、より安心な農業生産活動を実現することで地域の農業を守っていききたい。

【（農）石城の里】

入野自治会や助石自治会の活動を塩田地区全域に波及させることにより、イノシシの被害を軽減し、より安心な農業生産活動を実現していきたい。このことで、地域を担う中核経営体として経営基盤につなげるとともに、新規就農者等新たな雇用者の受け皿としても、地域の営農を守っていききたい。

7 今後の取組

【防護】

- 地域で一体的な防護柵を設置、維持管理

【捕獲】

- イノシシ捕獲ワナの常設
- 今後の被害発生が懸念されるサル用捕獲ワナの設置

【生息管理】

- 地域ぐるみでの周辺草刈、竹林伐採、果樹木管理を適切に実施